JED参加Type

JED-Project委員会

2018年5月

◆ JED “参加Type ” とは？

JEDへの参加に際し、

入力項目の指標 となるのが、“**参加Type**” です

4つのTypeが存在し、Type毎に**入力項目が分かれています**

Type Ⅰ

- Full DATA：患者背景情報～検査、診断情報を含む

⇒高度な研究、分析を可能にするものでありJED最大入力項目Type

Type Ⅱ

- Type Ⅰに準ずる：Type Ⅰから患者背景情報を省いた内容

⇒検査時に検査医が知りえる情報のみの入力項目Type

Type Ⅲ

- 施設独自（市販のアプリケーション等の利用による）の入力フォーム

⇒過去データを保持したまま最低限の入力項目Type

Type Ⅳ

- 全指導施設向け：Minimal Terminology

⇒所見入力として最少入力項目Type

◆ 参加Typeの選定

「どのTypeで参加するか？ 」はご施設にて**選択可能**です

※もちろん参加途中でTypeを変更することも可能！

まずは、**Typeの比較** 及び **Type毎の特徴** をご紹介します

※ご施設での対応可能Typeのご検討の参考に

～Typeが分かれる理由～

ご施設により、所見の入力方法も様々

そこで、４つの大別した入力項目内容により、

ご施設にあったTypeを選択可能にしています

◆ Typeの比較　～入力基本項目数の違い～

例として、上部内視鏡検査、におけるType毎入力基本項目を比較をすると・・・

Type Ⅰ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ	患者背景情報	ASA Grade
Ⅳ		抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ	依頼情報	予定性
Ⅳ		外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ	検査時情報	挿入経路
Ⅳ		機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

Type Ⅱ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ		ASA Grade
Ⅳ	患者背景情報	抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ	依頼情報	予定性
Ⅳ		外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ	検査時情報	挿入経路
Ⅳ		機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

TypeⅣ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ		ASA Grade
Ⅳ	患者背景情報	抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ		予定性
Ⅳ	依頼情報	外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ		挿入経路
Ⅳ	検査時情報	機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

多 ⟷ 少

First of all, for patient safety, For all of endoscopist.　Concept by JGES

◆ Type毎の紹介① ～ TypeⅣ 入力項目～

- TypeⅣ：全指導施設向け：Minimal Terminology

  ⇒所見として最少入力項目Type

TypeⅣ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ		ASA Grade
Ⅳ	患者背景情報	抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ		予定性
Ⅳ	依頼情報	外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ		挿入経路
Ⅳ	検査時情報	機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

実はこれだけ・・・

- 施行日
- 施行時年齢
- 性別
- 外来/入院
- 内視鏡機種
- 鎮痙・鎮静・麻酔

検査時 取得可能な情報

- 主実施医
- 副実施医
- 内視鏡看護師・技師

専門医登録項目

- 抗血栓薬内服
- 偶発症（術中）

学会からの調査項目

- 萎縮度
- HP感染状態

臨床統計内容

＋

- 診断情報

  診断・所見・処置・病理

所見内容

◆ Type毎の紹介①　～　TypeⅣ　統計・研究データ～

TypeⅣで可能な統計、検討例として

　例１：ご施設における、検査数集計、診断統計、といった簡易的な統計は、もちろんのこと

　例２：胃癌症例におけるHP感染率と萎縮度の検討

といったことが可能です

が、しかしながら、

・患者背景情報とのクロス統計ができない
・鎮静の状況もつかめない
・単純な『統計』であり、研究には使用しにくい

というのがTypeⅣの現状です

では、どうすれば
この様な事も出来るよ
うになるのでしょうか？
⇒TypeⅡの薦め

◆ Type毎の紹介②　～　TypeⅡ　入力項目～

- TypeⅡ：TypeⅠに準ずるが、TypeⅠから患者背景情報を省いた内容

⇒検査時に検査医が知りえる情報のみの入力項目Type

TypeⅡ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ		ASA Grade
Ⅳ	患者背景情報	抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ	依頼情報	予定性
Ⅳ		外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ	検査時情報	挿入経路
Ⅳ		機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

Ⅳより少し増えます・・・

- 施行日
- 施行時年齢
- 性別
- 外来/入院
- 内視鏡機種
- **検査目的**

検査時取得可能な情報

- 主実施医
- 副実施医
- 内視鏡看護師・技師

専門医登録項目

- 抗血栓薬内服
- 偶発症（術中・**術後**）

学会からの調査項目

- 萎縮度
- HP感染状態

臨床統計内容

- **鎮静剤の使用状況**
- **鎮痙剤の使用状況**
- **CO2の使用状況**
- **IEEの利用状況**
- **観察範囲（下部：回盲部到達率）**

＋

- 診断情報
  診断・所見・処置・病理

所見内容

◆ Type毎の紹介②　～　TypeⅡ　統計・研究データ～

TypeⅡで可能な統計、検討例として、TypeⅣで可能なものに加え

例１：　検査目的と診断との比較検討
例２：　腫瘍性病変診断　と　画像強調利用率の検討解析？？？
例３：　鎮静剤の使用頻度

といったことが可能です。
が、しかしながら、やはり、

・患者背景情報とのクロス集計や処置具の状況把握と統計などは不可能

であれば！
欲しいものだけを足して
もいいのでは？
⇒ TypeⅠの薦め

◆ Type毎の紹介③ ～ TypeⅠ 入力項目～

- TypeⅠ：Full DATA 患者背景情報～検査、診断情報を含む

⇒高度な研究、分析を可能にするものでありJED最大入力項目Type

TypeⅠ

Type	カテゴリー	細項目（出力データ項目名）
Ⅳ	患者基本情報	検査日
Ⅳ		年齢
Ⅳ		IDなど
Ⅳ		性別
Ⅰ	患者背景情報	ASA Grade
Ⅳ		抗血栓薬
Ⅰ		喫煙
Ⅰ		飲酒
Ⅰ		悪性腫瘍家族歴（両親、兄弟・姉妹・実子）
Ⅰ		他臓器癌歴
Ⅳ		萎縮度（木村竹本分類）
Ⅳ		ヘリコバクター・ピロリ感染状態
Ⅱ	依頼情報	予定性
Ⅳ		外来・入院
Ⅱ		検査目的
Ⅱ		治療目的
Ⅱ	検査時情報	挿入経路
Ⅳ		機種名
Ⅱ		鎮痙剤使用
Ⅳ		鎮静・鎮痛・麻酔
Ⅱ		送気
Ⅱ		観察範囲
Ⅱ		画像強調観察
Ⅱ		手技開始時間
Ⅱ		手技終了時間
Ⅳ		主実施医師名（1名）
Ⅳ		副実施医師名（複数可）
Ⅳ		内視鏡看護師・技師名（複数可）
Ⅳ	偶発症情報	手技中偶発症
Ⅱ		手技後偶発症
Ⅰ		30日以内の死亡

- 施行日
- 施行時年齢
- 性別
- 外来/入院
- 内視鏡機種
- **開始時間・終了時間**
- 検査目的
- 主実施医
- 副実施医
- 内視鏡看護師・技師
- 抗血栓薬内服
- 偶発症（術中・術後・**30日以内の死亡**）
- 萎縮度
- HP感染状態
- 鎮静剤の使用状況
- 鎮痙剤の使用状況
- CO2の使用状況
- IEEの利用状況
- 観察範囲（下部：回盲部到達率）
- **ASA Grade**
- **喫煙歴**
- **飲酒歴**
- **がん家族歴**
- **がん既往歴**

TypeⅠでは
追加定義された項目から
ご施設で必要項目を
選別するのも良いのでは
ないでしょうか？

＋

- 診断情報
  診断・所見・処置・病理

◆Type毎の紹介③　～　Type Ⅰ　統計・研究データ～

Type Ⅰ では・・・、

患者背景情報～検査、診断情報と幅広くデータ取得が可能な為、
背景情報と診断情報におけるクロス集計はもちろん、
この他様々な統計・解析が可能となります

例１　癌診断　と　癌家族歴　・　他臓器癌歴　の統計解析

例２　飲酒・喫煙状況　と　診断　の　統計解析

◆ Type毎の紹介④ ～ TypeⅢとは？ ～

- TypeⅢ：ご施設独自の入力・登録
  ⇒過去データを保持したまま、最低限の入力項目Type

・ご施設独自でデータ登録をされている場合はこちらのTypeとなります
※市販のソフトへのデータ登録実施ご施設
または、独自開発ソフト等へのデータ登録実施ご施設が対象となります

・TypeⅢには入力項目の提示がありません
⇒TypeⅠ、Ⅱ、Ⅳよりご施設にあった入力項目Typeをご選択頂き、
現在ご利用のソフトウエアに必要項目を入力・登録して頂く必要があります
・TypeⅢでご参加頂く場合には、必ず、事前に本学会へご連絡頂く必要がございます
別途、TypeⅢ参加用の手順書をお送りします

最後に・・・

◆JED導入及びType選定に際し・・・

- JEDは本学会へのデータ提出プロジェクトではなく、
  - ー専門医制度への対応
  - ーご施設における研究を容易にする

  ことを一つの目的としています

- ご施設に必要な項目は足す/施設に不要な項目は削ればいい
  - ーご施設にデータを残す
  - ー研究データベースが検査後に出来上がるように
  - ーマルチセンタースタディがやりやすいように

  つまりご施設が必要な内容で進めて頂くことが可能です

何といっても・・・

- ご施設で利用して頂くことがまず第一義！！
- 不要と思ったり、これは入力が無理・・・
  そういうデータは無理をして頂く必要はありません！

JED-Project